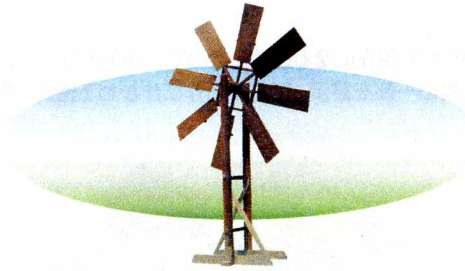




沿革

年	東大農場の歴史	主な出来事
1878(明治11)年1月	農学校内に農場開設	77 西南戦争
1882(明治15)年5月	農学校が駒場農学校に改称	
1886(明治19)年7月	駒場農学校が東京農林学校に改称	
1890(明治23)年6月	帝国大学農科大学附属農場設置	89 大日本帝国憲法 発布
1897(明治30)年6月	東京帝国大学農科大学附属農場と改称	90 第1回帝国議会 94 日清戦争
1919(大正8)年2月	東京帝国大学農学部附属農場と改称	04 日露戦争
1926(大正15)年3月	果樹園が神奈川県吾妻村(現二宮町)に移転、吾妻果樹園と称す	14 第一次世界大戦 勃発
1935(昭和10)年8月	本場が東京府田無町に移転、多摩農場と称す	23 関東大震災
11月	吾妻果樹園を二宮果樹園と改称	29 世界恐慌
1937(昭和12)年	経済農場附設	39 第二次世界大戦 勃発
1942(昭和17)年4月	農場専任助教配置	
1943(昭和18)年9月	二宮果樹園を二宮農場と改称	45 第二次世界大戦 終戦
1947(昭和22)年10月	東京大学農学部附属農場と改称	
1953(昭和28)年	経済農場閉鎖	
1956(昭和31)年1月	二宮農場を二宮果樹園と改称	58 東京タワー完成
1965(昭和40)年4月	農場専任教授配置	59 メートル法施行
1974(昭和49)年4月	新牛舎稼働開始(南側ポプラ植樹)	64 東京オリンピック 開催
1981(昭和56)年8月	多摩農場研究棟(通称:本館)落成	70 日本万国博開催
1995(平成7)年4月	大学院 生産・環境生物学専攻 生産生態学 協力講座設置	78 新東京国際空港 開港
2000(平成12)年4月	東京大学大学院農学生命科学研究科附属 農場と改称	
2004(平成16)年4月	東京大学が国立大学法人となる	05 西東京市いこいの森公園開園
2007(平成19)年11月	農場博物館開館	
2008(平成20)年3月	二宮果樹園閉園	
2010(平成22)年3月	農場廃止	
2010(平成22)年4月	生態調和農学機構設置	

www.isas.a.u-tokyo.ac.jp/museum



開館日時

毎週火曜日・金曜日 10:15~14:45

お問合せ

事務局 東京大学大学院農学生命科学研究科附属生態調和農学機構
(旧東大農場)内
〒188-0002 東京都西東京市緑町一丁目1番1号
tel:042-463-1611(自動応答) fax:042-464-4391

アクセス

●西武新宿線田無駅北口から徒歩8分

●西武池袋線ひばりヶ丘駅南口から

西武バスひばりヶ丘団地經由武蔵境駅行(境04)・ひばりヶ丘団地
經由田無駅行(田43) 乗車時間約10分「上宿住宅」下車徒歩3分
《西武バス谷戸經由武蔵境駅行(境03)
乗車時間約20分「中央通り」下車徒歩5分》



農場博物館は「東大フィールドボランティア」
のサポートで運営されており、博物館ガイド
もっております。気軽にお声をかけていただ
ければ館内を丁寧にご案内いたします。

東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO



農場博物館

The Univ. of Tokyo Farm Museum



旧乳牛舎(現農場博物館)には盛時60頭もの乳牛が飼育されていた

旧乳牛舎は1934(昭和9)年に建設され、翌年から使用されはじめ当初は20頭弱の乳牛が飼育されていた。1960(昭和40)年代半ばには60頭もの乳牛がここを中心に飼育されていた。しかし、近郊の都市化の波におされ臭気や騒音の問題も発生し、1974(昭和49)年に乳牛舎としての役割を終えた。その後、駒場農学校以来100余年間にわたって弥生キャンパスの農学部標本室で蒐集保存されていた貴重な農機具類に加えて、農場で使用されていた農機具のうち歴史的・文化的価値の高いものを集約した農機具展示室となった。

調査の結果、旧乳牛舎は建築史上貴重な建造物と判明

その後農機具展示室(旧乳牛舎)は、移転問題などで補修が行われず、風雨に晒され自然崩壊寸前の危機状況に追い込まれていた。しかし2007(平成19)年移転計画中止が決定され、農場に残された建築群の調査が実施された。当建物は、1923(大正12)年に起った関東大震災後の耐震性を重視した当時の東京帝国大学の営繕課長であり、1972(昭和47)年に文化勲章を受章された内田祥三元総長の指導監督のもとに建設された、貴重な建物であることが判明。同年に建設当時の佇まいを維持した修復工事が行われ、その年の11月23日に、貴重な農機具に加え、器物や図解など約200点を展示した「農場博物館」として東大の公開施設に生まれかわり現在に至っている。



機能美が追求された天井トラス



トロッコレールとターンテーブル

「農業」・「食」の原点をテーマに展示品を選定

■ 駒場農学校コレクション

東大農学部の前身である駒場農学校が編纂した「泰西農具及び獣医治療器械説明書」に掲載されている農具の一部を、書中の図や解説とともに展示。

■ 農学部・農場コレクション

農学校時代から現在に至る過程において、標本として歴史的価値のある農機具の一部を展示。現在は稲作にかかわる道具・機械を中心に展示。

■ Bolens社製歩行用トラクタコレクション

農場が所蔵しているBolens（ボーレンス）社製歩行用トラクタ5台および作業機15台を展示。

Bolens社製歩行用トラクタコレクション			農学部・農場コレクション		
ライドマスター	パワーバック	クボタ田植機 SPS-28型	ヤンマー フロート式 動力苗播き機 FP-2A型	カンリウ 田植機「農研号」 TMI-3型	メリーテラー
ハンディホー	土塊破砕機	ディスクハロー	人力散粉機	黒田式 直播機	木製方形 液用五合研
ハスキーB6A形	擦土板	トレーラ	動力噴霧機	みのる 中苗植機 ひかり号	円筒形 穀用一斗研
サルキー	ツースハロー	シードプラント	備中鋤	タイキン 苗播き機 TP-21型	米選機
トレーラ	動力噴霧機	風呂鋤	たつき棒	チヨダ式 採種用 動力脱穀機	試験 研究用木臼
			雁爪	唐箕	
			連枷	千歯こき	
			高北式 双用犁 「國富号」		
			高北式 双用犁 「土の母号」		
			改良型馬鋤		



駒場農学校コレクション



洋鎌刃コレクション



大八車



東大アイスクリーム外装



事務室

第1ブース(旧第1・2産室)
東大農場の歴史
多摩農場の建物群 旧乳牛舎木構造

受付

T.V. Monitor

視聴覚コーナー

- 東大農場・演習林の四季
- 農場ウオッチング 春・夏編
- 乳牛舎の修復の記録
- たんぼの風景

「東大牛乳」瓶

ボランテアア会活動展示コーナー
ワグネルボットによるイネの栽培記録

第2ブース(旧第1積房)
教草

「教草」というタイトルは初等教育用の教材を意味している。1873(明治6)年に開催されたウィーン万国博覧会に出品するにあたって、全国から収集した伝統的な技術等を田中芳男ら博物館が絵図資料として編集したものである。これらの原本は国立公文書館に所蔵され、国の重要文化財に指定されている。

第3ブース(旧第2積房)
獨逸農事圖解

「日本の博物館の父」と称される田中芳男が1873(明治6)年に開催されたオーストリア・ウィーン万国博覧会に出張した際に、ドイツの農業関係の資料を収集し、農水省の前身である内務省勸業寮に要約・図解させたものである。内國勸業博覧會などで展示されたものと思われる。

第4ブース(旧牡牛房)
人力温州みかん 階級選果機

体験コーナー

